

特集「日蓮と法華の名宝～華ひらく京都町衆文化～」展

日蓮聖人と町衆文化の栄光

立正大学名誉教授 中尾堯文



京都法華宗の繁栄

室町時代の中ごろ、十五世紀のなかば、京都の町はお題目の信仰で満ち溢れていた。「法華宗の一門の盛んなることよ」と、『蔭涼軒日録』は目をみはる。日蓮聖人の法灯を継ぐ京都の寺を、当時は「法華宗」といい、その信者を「法華衆」「日蓮党」といった。

日本の政治・経済の中心地として栄えた中世の京都には、法華宗の二十一ヶ本山が並び立ち、大勢の信者が参詣した。とくに十月十三日は日蓮聖人のお会式で、大変な賑わいであった。その大半が法華宗の信者であった。京都の商人や手工業者たちを、「町衆」という。

「二十一ヶ本山」の多くは、庶民が暮らす下京に集中していた。これらの寺院を『日蓮宗事典』によってあげると、妙顕寺・弘経寺・上行院・住本寺・本国寺・妙覚寺・妙満寺・本禅寺・本満寺・宝国寺・立本寺・妙蓮寺・本能寺・本法寺・頂妙寺・妙泉寺・学養寺・本覚寺・妙伝寺・本隆寺・大妙寺である。これらの本山は、各寺内に塔頭寺院があり、洛中に末寺をもっていた。寺院の外にも、「法華の僧房」や「弘通所」がいくつもあって、盛んに説法が行われていた。法華宗の盛況は、この事実によってよくわかる。

日像上人の事績

京都法華宗が、空前の繁栄を

日蓮聖人門連だより

発行 日蓮聖人門下連合会 〒146-8544 東京都大田区池上1-32-15 電話 (03) 3751-7181

平成21年2月16日 第39号

立正安国論奏進七五〇年記念特別展 日蓮と法華の名宝 華ひらく京都町衆文化

期間 平成二十一年十月十日～十一月二十三日 会場 京都国立博物館

もたらす元を開いたのは、洛中に妙顕寺を開いた日像上人である。師の日蓮聖人から、『立正安国論』の趣旨を天皇に奏上するよう委嘱された日像上人が、京都で布教を始めたのは、永仁二年（一一九四）のことである。やがて柳酒屋など豪商の帰依を得て地盤を固め、いよいよ天皇に所信を奏上しようとした。ところが、かえって迫害を受け、三度にわたり洛中追放の憂き目にあった。辛苦の末、建武元年（一一三三）には、後醍醐天皇から綸旨を賜り、日像上人が開いた妙顕寺を勅願寺に定められ、「一乗円頓の宗旨弘めよ」と命じられた。法華宗の布教が公認されたのである。

この後、宗門の僧が次々と関東から上洛して布教し、有力な商工業者の帰依を受けて、大寺院を建てて活躍した。桓武天皇が平安京を開かれてから、京都の市中には寺院の建立が原則的に認められなかった。天台宗の比叡山にとつて、法華宗の寺院は非法なものであった。このため、法華宗の寺院は、比叡山から度々攻撃を受けたが、発展の勢いは止まらなかった。

法華の世

一四世紀の京都は、目まぐるしい変動の渦中にあった。鎌倉幕府が滅亡して、後醍醐天皇による建武政権ができると、それも瞬く間に南北朝に分かれて争い、次いで足利尊氏によって京

都に室町幕府がはじまる。このようにはげしい変動の中で、京都の町には関東の武士の姿が急増する。朝廷と幕府が置かれた京都市となった。関東に生まれたい日蓮聖人の「法華宗」を、京都の人々は新しい宗教として、期待をもって迎え入れた。「二十一ヶ本山」で語られる京都法華宗の繁栄は、十四世紀末から十五世紀に現出した。

京都の町を焼き尽くしたのには、応仁元年（一四六七）から十年間にわたる、京都の町を舞台に戦われた「応仁の乱」である。細川勝元と山名宗全が、都の東西に分かれて戦ったので、都はすべて灰燼に帰し、將軍は地方に落ち延びて幕府の権威は地に落ちた。京都の町は、ここに住む町衆自身によって再建し、守らなくてはならない。戦乱が都を離れて地方に及ぶと、町衆は早速復興に取り掛かり、町の秩序を自分たちの力で守るようになった。町衆による自治都市の出現である。

日蓮聖人二百遠忌の頃

京都の町が復興途上にあつた文明十三年（一四八二）十月十三日に、日蓮聖人の二百遠忌を迎えた。法華宗の各本山では、意義深いこの日を期して、大乱で焼失した伽藍の復興に余念がなかった。お会式の日に、日蓮聖人をまつる木の香も新しい祖師堂に、大勢の町衆

が陸続と参詣してにぎわった。この頃、時代はまさに戦乱の世で、京都の町は周囲の諸勢力からの攻撃にさらされていた。町衆は、町を防衛するために武装を整え、法華宗の寺院を拠点に要害を固めた。妙顕寺や本國寺など大寺院では、伽藍の周囲に深い堀をめぐらし、外敵からの襲撃に備えた。

天文法難と十六本山

天文五年（一五三六）七月、これまで対立していた法華宗と比叡山延暦寺は、鴨川をはさんで戦闘を始めた。互いに譲らなかったが、やがて近江国（滋賀県）の六角氏が比叡山側についていたので、法華宗は劣勢になり総崩れになった。洛中に攻め入った比叡山側の軍は、法華宗の伽藍を次々と焼き払ったので、本寺は堺（大阪府堺市）の末寺を頼って難を逃れた。「天文法華の乱」がこれで、法華宗では「天文法難」と呼んでいる。

数年後、法華宗の本山は、避難先の堺から京都に帰り、復興に着手した。やがて昔日の景観に服した頃、永祿七年（一五六四）八月に、法華宗の本寺が合を聞き、盟約を結んで宗門の新しい方針を定めた。この時の本寺は十六ヶ寺で、「十六本山会合」という。その寺々は、妙覚寺・本満寺・妙伝寺・妙泉寺・要法寺・頂妙寺・妙満寺・本能寺・本國寺・立本寺・本隆寺・妙蓮寺・妙顕寺・本法寺・

本禅寺の十五ヶ寺で、後に寂光寺が加わる。 天正三年（一五七五）に法華宗の「洛中勧進」が行われた。この勧進は、町ごとに寄付金を集め、これを十六本山会合に持参するという方法でおこなわれたもので、町衆の力によって成就した。この「勧進帳」によると、当時上京の過半数が、法華宗の信者であった。

花開く法華文化

天文法華の乱後の法華宗は、京都町衆に担われて、再び繁栄の道を歩んだ。しかし、その歩みは以前とは大きく異なり、武装を一切排除した、非武装主義に徹していた。非武装の平和の中に、豊かな文化の華を咲かせた。それが「法華文化」ともいえる、絢爛豪華な「桃山文化」である。特に、本法寺を檀那寺とする本阿弥家の活動は注目され、光悦は異才を発揮し、京都鷹が峰に芸術村をつつた。狩野元信・永徳・探幽らは狩野派を盛んにし、尾形光琳は琳派をはじめた。本法寺日蓮上人の庇護を受けた長谷川等伯は、法華宗寺院に勝れた作品を多く遺している。

このように多彩な芸術家は、単に仏画を描くというのではなく、雄大な大自然と人間の営みを暖かく描写した。その作品には、日蓮聖人が指し示された、宇宙を觀照する大きな心が息づいている。

京都に育まれた「法華文化」は、天下統一に相応しい、町衆の伝統の上に開花した「桃山文化」である。それは、織田信長や豊臣秀吉のような権力者に大きく受け入れられながらも、その圧政には屈することのない、輝かしい栄光の文化である。

從地ゆじゆつ

昨年来の米国発の金融危機は、日本経済に大打撃を与え、円高、雇用難民、景気低迷は長期化している。政治は混迷を続けるのみで、景気回復への有効な政策は未だ見出されない。昨年、漢字は「変」であったが、フランス方向への変化ならいいが、マイナス方向では、日本のみならず世界中が大変である。米国のオバマ大統領は「チェンジ」と叫んで当選したが、世界経済の安定、温暖化等の地球環境問題、新型インフルエンザの出現、続発する民族紛争、国際テロ等、早くフランス方向にチェンジを要するものばかりである。他人まかせで、為政者のみに、危機克服を依拠期待するだけでは何も解決していかない。今この時こそ、我々一人一人が何ができるか、何をすべきか、自問自答する必要がある。本年は『立正安国論』奏進七五〇年に当る。「汝、早く信仰の寸心を改めて、速かに実乗の一善に帰せよ」今こそ宗祖のこの一節を胸に銘記し、我々自身がチェンジする時である。

「変」続きで述べると仏教の命題の一つ、「諸行無常」がある。「この世のあらゆる全ての現象、存在は移ろい変わりゆくもので、生滅変化を繰り返す常ならずにある」とされる。有名な平家物語の冒頭、「祇園精舎の鐘の声 諸行無常の響あり 沙羅双樹の花の色 盛者必衰の理をあらはす」とある。盛者必衰の理が盛者必衰の理として受け取られることが多い。マイナス方向のイメージが強く、文字通り、諸行が、滅びる、衰えると解釈される。現実には、アメリカンドリームを宣揚し、巨額の富を手に入れた米経済界のリーダー達、日本でもヒルズ族IT長者、勝ち組といわれた人々が、今回の金融危機によって、身を以て実感していることだろうが、諸行無常を消極的、悲観的なマイナス思考ではなく、積極的、楽観的な変化と考える、プラス思考も必要ではないか。危機のピンチを、変化へのチャンスととらえることもできるのではないか。雑感を述べさせていただきます。合掌 (光)

特集「日蓮と法華の名宝」華びらく京都町衆文化」展

「日蓮聖人展」に思う

京都日蓮聖人門下連合会理事長
門下連合会常任理事 藤井照源

「日蓮聖人展」の出發

平成十八年十一月十七日、頭本法華宗総本山妙満寺で日蓮聖人門下連合会京都理事会が開催された。その席上、事務局より「立正安国論」奏進七五〇年記念事業として京都国立博物館で平成二十一年秋仮称「日蓮展」を開催する計画が提示され決議となったが反応が鈍かった。いや、ほとんどの出席者が否定的見解であった。それは、平成十五年一月に東京で立教開宗七五〇年記念『大日蓮展』を開催してまだ四年（提示された年から計算）も経っていないことや、なぜ京都の開催なのか、開催月も観光シーズンの秋であること等、全く理解を得られる状況でなかった。門連事務局は常任理事会、理事会、京都門連理事会総会で開催趣旨・要項・運営等詳細に説明、幾多の会議を重ねるに至り、平成十九年門連身延理事會に於て仮称「日蓮展」を前向きに検討していく事を確認、事業を進めて行くこととなった。

「組織運営の難題」

前向きに検討していくと確認されても具体的に進む道は平坦ではなかった。

「教学・信仰の問題点」

運営方法の難しさもあったが、教育的な問題や信仰の問題にも種々様々な意見が出た。祖師の讃仰を考へる時「日蓮展」ではなく「日蓮聖人展」ではないのか立正安国論の「奏進」という言葉の決定は各宗派ではどうとらえていくのかを中心にタイトルについての希望、町衆の読み方、宗宝調査の動き方についても多くの意見が出た。多くの意見が出るということは、この企画に対して皆が前向きに考えている事の証でもあった。

「京都で開催する意義」

見交換をし更に会合を重ね平成二十年二月十六日の京都門連総会にて主催者より報告、日程 平成二十一年十月十日～十一月二十三日迄、京都国立博物館で開催（月曜日休館）、タイトル「日蓮と法華の名宝」華びらく京都町衆文化」と決定した。日蓮聖人門下連合会としてはこの事業におけるすべての名称として「日蓮聖人展」とすることが付け加えられた。

「日蓮聖人展」に向け

京門連事務局

京都日蓮聖人門下連合会は、今年十月に開催される「日蓮聖人展」を、現状に即応した運営展開が出来るよう、京都門連事務局と十六本山各代表が設置された。この「日蓮聖人展」を成功に結びつけるため、縦横の連携と種々の課題を話し合う事によって、目的成就のレールがしっかりと敷かれる事の願いからである。またこの機会に十六本山はじめ、比叡山横川定光院や、京の法華信仰寺院に一人でも多く祖師の御心に触れていただきたい願いもこめてある。メンバーは次の通りである。

「日蓮聖人展の幕は開いた」

日蓮聖人が鎌倉幕府に「立正安国論」を奏進し七五〇年、幾多

の意味を含んでいる。又町衆文化の中で築きあげられた歴史・伝統・文化・芸術の名宝が展示され法華信仰に深い縁のある長谷川等伯、俵屋宗達、尾形光琳、尾形乾山の心にも触れて戴くことも大きな意義がある。

この言葉が全国各地に大音響で響いていくことを心から願うものである、なぜならば日蓮大聖人が必ずやお待ちになつておられる事を確信するからである。

「日蓮聖人展」十六本山各代表

原正純 法華宗真門流総本山本隆寺―足立真正 日蓮宗大本山妙頭寺―原光司 日蓮宗大本山本圀寺―川口智康 本門法華宗大本山本能寺―高橋宏顕 本門法華宗大本山妙蓮寺―音羽隆全 日蓮宗本山要法寺―原光明 法華宗陣門流本禪寺―三品亮徹 日蓮宗本山妙覚寺―藤岡智健 日蓮宗本山本満寺―大原孝宣 日蓮宗本山本法寺―西本泰然 日蓮宗本山立本寺―三木天道 日蓮宗本山妙博寺―谷口真也 日蓮宗本山頂妙寺―藤井照源 頭本法華宗本山寂光寺―大川定信 本門佛立宗本山有清寺（未定）である。

「日蓮聖人展」十六本山各代表

設置以後、幾度となく会議を重ね、現在に至っている。各御本山の参拝、御朱印と開催期間中の各本山の予定、マップ作り、スタンプリー等企画満載である。「立正安国論」奏進七五〇年の機会に、この京の地で開催される「日蓮聖人展」を何としても成功するよう努力して行きたい。それが日蓮大聖人に対する報恩感謝の誠である。京門連事務局は皆様方をお待ちしております。おこしやす「日蓮聖人展」へ。

（藤井照源）

（順不同）

一枚の切符から

国内・海外 団体参拝旅行まで

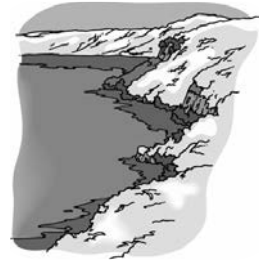


knt!
近畿日本ツーリスト

カチにします。ときめき・キラメキ・おもてなし
www.knt.co.jp

団体参拝推進部
〒101-8641
東京都千代田区神田松永町19-2
東京近鉄ビル5F
TEL 03-3255-7953 FAX 03-3255-7630

平成二十一年七月十六日は
『立正安国論』奏進七五〇年
を迎えます



(平成二十一年二月現在)

日蓮宗宗務院

管長	酒井 日慈	財務部長	駒野 教源
宗務総長	小松 淨慎	宗務総長室長	長 亮行
伝道局長	川名 義顕	現代宗教研究所長	田澤 元泰
総務局長	張田 珠潮	参 与	堀江 宏正
伝道部長	齊藤 憲一	参 与	浅井 玄裕
教務部長	酒井 光雄	日蓮宗新聞社社長	垣本 孝精
総務部長	藤岡 暎邦		

〒146-8544 東京都大田区池上一-三二-一五
電話 〇三(三七五-一)七二八一
FAX 〇三(三七五-一)七二八六

法華宗(本門流)宗務院

管長	大塚 日正
宗務総長	原 井 慈 鳳
教学部長	桃 井 晋 城
庶務部長	矢 吹 慈 英
財務部長	加 藤 信 淨

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町二-一九-一
電話 〇三(五六-一四)三〇五五(代)
FAX 〇三(五六-一四)三〇五六

顕本法華宗宗務院

管長	中村 日玄
宗務総長	藤崎 広学
宗務次長	島田 幸晴
財務部長	藤崎 行学
教務部長	早川 正義
社会部長	阿曾 久成
布教部長	古瀬 久馨
庶務部長	津村 乗信

〒606-0015 京都市左京区岩倉幡枝町九-一
電話 〇七五(七九-二)七二七一
FAX 〇七五(七九-二)七二六七

法華宗(陣門流)宗務院

管長	椿澤 日壽
宗務総長	佐古 弘文
総務部長	門谷 光瑞
教学部長	布施 義高
教化部長	佐古 大弦
財務部長	金原 孝宜
宗務参事	今井 満良

〒170-0002 東京都豊島区巢鴨五-一三-五十六
電話 〇三(三三九-一八)七二九〇
FAX 〇三(三三五-七六)〇一一一

本門佛立宗宗務本庁

講 有	小山 日誠
講 尊	梶本 日裔
講 尊	野崎 日丞
宗務総長	佐藤 日鳳
宗務副総長	梅田 日芳
宗務副総長	嶋田 日幾雄

〒602-8377 京都市上京区御前通一条上る東堅町二-一〇番地
電話 〇七五(四六-一)一一六六(代)
FAX 〇七五(四六-四)五五九九

日蓮本宗宗務院

管長	嘉儀 日有
宗務総長	原 智功
総務部長	長崎 秀要
財務部長	原田 智光
教務部長	原 光明

〒606-8362 京都市左京区新高倉通孫橋上ノ法皇町四四八
電話 〇七五(七七-二)三三九〇
FAX 〇七五(七七-二)五九一四

法華宗(真門流)宗務院

管長	田中 日生
宗務総長	竹内 正道
総務部長	上田 浩岳
教学部長	井上 隆啓
教化部長	木村 完祥
財務部長	堀立 智泰
社会部長	安立 修学
主事	山口 英泰
	笹木 研吾

〒602-8447 京都市上京区智恵光院通り五辻七上紋屋町三三〇
電話 〇七五(四四-二)五七六二
FAX 〇七五(四四-二)五六六六

本門法華宗宗務院

管長	松下 日肆
宗務総長	藤井 日靖
総務部長	吉村 頼彦
宗務部長	増田 隆雄
財務部長	土畑 信教
教務部長	音羽 隆全
庶務部長	山田 岳隆

〒602-8418 京都市上京区寺ノ内通大宮東大砂蓮寺前町八七五
妙蓮寺内
電話 〇七五(四五-二)三五二七
FAX 〇七五(四五-二)三五九七

宗教法人 国柱会

賽主	田中 壮谷
理事長代務	田中 勇一郎
門連常任理事	本間 直暉
門連理事	仲南 良夫
門連理事	石見 哲三
編集委員	森山 真治

〒132-0024 東京都江戸川区一之江六-一九-一八
電話 〇三(三六五-六)七二二(代)
FAX 〇三(三六五-六)九九八〇
<http://www.kokuchukai.or.jp>

京都日蓮聖人門下連合会


会 長	永田 日洵
副 会 長	松下 日肆
理 事 長	藤井 照源
副 理 事 長	石崎 光教

京門連事務局
〒606-8376 京都市左京区二条通川端東大菊町九六
頂妙寺布教会館内 日蓮宗京都府第一宗務所内
電話 〇七五(七六-二)二四一一
FAX 〇七五(七五-二)九三三八

日本山妙法寺大僧伽

首 座	吉田 行典
責任役員	酒井 天信
同	今井 行康
同	池田 行朗
同	二宮 和嘉
同	木津 博充
同	川岸 行孝

日本山妙法寺大僧伽事務局
〒150-0045 東京都渋谷区神泉町八一七
電話 〇三(三四六-一)九三六三
FAX 〇三(三四六-一)九三六七

<p>日蓮宗総本山 身延山久遠寺</p> <p>法主 内野日総 総務 井上瑞雄</p> <p>〒409-2593 山梨県南巨摩郡身延町身延 電話 〇五五六(六二二)一〇一一 FAX 〇五五六(六二二)一〇九四</p>	<p>日蓮宗大本山 池上本門寺</p> <p>貴首 酒井日慈 執事 野坂法雄 役員一同</p> <p>〒146-8576 東京都大田区池上一一―一 電話 〇三(三七五二)二三三三 FAX 〇三(三七五二)三三五〇</p>	<p>法華宗(本門流)大本山 光長寺</p> <p>貴首 石田日信 執事 久保木学洋 役員一同</p> <p>〒410-0011 静岡県岡宮一〇五五 電話 〇五五(九二二)〇四八四 FAX 〇五五(九二二)〇七三六</p>	<p>顕本法華宗総本山 妙満寺</p> <p>貴首 中村日玄 執事 島田幸晴 執事 山本晃道 執事 湯村英司 執事 小川正純</p> <p>〒606-0015 京都市左京区岩倉幡枝町九一 電話 〇七五(七九二)七二七一 FAX 〇七五(七九二)七二六七</p>
<p>法華宗(陣門流)総本山 本成寺</p> <p>貴首 椿澤日壽 執事 栗田孝之 執事 笹原壯玄 執事 鈴木正孝 執事 近藤文昭 執事 荒川公孝 執事 五十嵐義昭</p> <p>〒955-0845 新潟県三条市西本成寺一―一二〇 電話 〇二五六(三二二)〇〇〇八</p>	<p>法華宗(真門流)総本山 本隆寺</p> <p>貴主 田中日生 執事 足立真正 執事 本多信正 書記 永岡悠希 書記 笹木研吾</p> <p>〒602-8447 京都市上京区智恵院通り五辻上ル紋屋町 電話 〇七五(四四一)五七六二 FAX 〇七五(四四一)五六六六</p>	<p>本門法華宗大本山 妙蓮寺</p> <p>貴首 松下日肆 執事 石崎光教 役員一同</p> <p>〒602-8418 京都市上京区寺ノ内通大宮東入妙蓮寺前町八七五 電話 〇七五(四五二)三五二七 FAX 〇七五(四五二)三五九七</p>	<p>多寶富士山 日蓮本山 本山要法寺</p> <p>貴首 嘉儀日有 執事 丹治日遠 執事 原長智功 執事 原田秀要 執事 原田光明</p> <p>〒606-8362 京都市左京区新高倉通孫橋上ル法皇町四四八 電話 〇七五(七七二)三三九〇 FAX 〇七五(七七二)五九一四</p>
<p>本門佛立宗本山 宥清寺</p> <p>住職 小山日誠 執事 中西清乘 事務局長 伊藤隆之</p> <p>〒602-8336 京都市上京区一条通七本松西入滝ノ鼻町一〇五―一 電話 〇七五(四六三)四六二〇(代) FAX 〇七五(四六三)四六五一</p>	<p>日蓮宗大本山 日蓮聖人出家得度の霊跡 清澄寺</p> <p>別当 中條令紹 執事 佐々木光道</p> <p>〒299-5505 千葉県鴨川市清澄三二二―一 電話 〇四(七〇九四)〇五二五 FAX 〇四(七〇九四)〇五二七 団参には是非、研修会館をご利用ください。 一六〇名様まで可。</p>	<p>京都八本山会</p> <p>大本山 妙顕寺 貴首 南條日慈 大本山 本圓寺 貴首 吉田日厚 本山 頂妙寺 貴首 永田日洵 本山 妙覚寺 貴首 頂岳日選 本山 本満寺 貴首 伊丹日章 本山 本法寺 貴首 大塚日行 本山 立本寺 貴首 上田日瑞 本山 妙傳寺 貴首 野々垣日祐</p>	<p>日蓮宗霊跡本山 比企谷 妙本寺</p> <p>貴首 早水日秀 執事 立野正泰 執事 高作泰寛 山務役員一同</p> <p>〒248-0007 鎌倉市大町一―一五―一 電話 〇四六七(二二二)〇七七七 FAX 〇四六七(二二五)六九六七</p>
<p>日興上人御廟所 日蓮宗大本山 富士山重須本門寺</p> <p>貴首 本間日諄 執事 井出教道 執事 井野上正文 参 与 藤先博明</p> <p>〒418-0112 静岡県富士宮市北山四九六五 電話 〇五四四(五八)一〇〇四 FAX 〇五四四(五九)〇三〇三</p>	<p>日蓮宗大本山 中山法華経寺</p> <p>貴首 新井日湛 参 与 田代浩敬 同 渡辺行俊 同 植田観樹 同 吉田文堯 同 布施慈範</p> <p>〒272-0813 千葉県市川市中山二一〇―一 電話 〇四七(三三四)三四三三 FAX 〇四七(三三四)一七九六</p>	<p>やくよけ祖師 日蓮宗本山 堀之内妙法寺</p> <p>山主 嶋田日新</p> <p>〒166-0013 東京都杉並区堀之内三―四八―八 電話 〇三(三三三)六二四一 FAX 〇三(三三三)五〇〇七</p>	<p>日蓮宗本山 頂妙寺</p> <p>貴首 永田信遠 参 与 安藤隆司 同 藤井照源 同 川合陽雄</p> <p>〒606-8376 京都市左京区仁王門通川端東入大菊町九六 電話 〇七五(七七二)〇五六二 FAX 〇七五(七五二)一〇〇四</p>
<p>日蓮門下お題目初唱之霊場 日蓮宗本山東身延 藻原寺</p> <p>貴首 持田日勇 執事 増田寶泉 総務 富永一道 役員一同</p> <p>〒297-0026 千葉県茂原市茂原一―二〇―一 電話 〇四七五(二二二)三二五三 FAX 〇四七五(二二二)一一七三</p>	<p>宗祖御降誕霊場 日蓮宗大本山 誕生寺</p> <p>宗祖御降誕八百年に向かつての祈り</p> <p>貴首 石川日命 執事 村田教清</p> <p>〒299-5501 千葉県鴨川市小湊一八三 電話 〇四(七〇九五)二六二一 FAX 〇四(七〇九五)二〇五五</p>	<p>徳川家康公報恩創建 日蓮宗由緒寺院 瑞輪寺</p> <p>除厄安産飯匙の祖師・七面大明神奉安</p> <p>貴首 井上日修</p> <p>〒110-0001 東京都台東区谷中四―二―一五 電話 〇三(三三二)四三三七 FAX 〇三(三三二)七〇三三</p>	<p>「日蓮聖人展」 紅葉の都 京都へ いまふたたび京都町衆文化が華ひらく</p> <p>平成二十一年二月現在</p> 

門連時報

京都理事会開催さる



平成20年11月27日 於 大本山妙蓮寺

下日肆院下による「妙蓮寺の沿革」を拝聴した後、続いて宝物所蔵庫を拝観し、大変貴重なお話しと普段目にするこの出来ない寺宝を拝観する事ができた。

引き続き、午後三時より「京都理事会」が開催された。参加者各自の自己紹介の後、小松浄慎理事長が座長となり議題に沿って議事を進行。

全門連上半期事業報告、京都門下連合会の活動報告、大阪門下連合会の行事並びに活動報告があった。また、平成二十一年十月より開催される「日蓮と法華の名宝」展に関して本展事務局より進捗状況を報告。京都十六本山の全てより出品して頂くよう要望すると共に、種々意見を交わし、各派各会が一致協力した事業として進めていくことを再確認して、午後四時十分閉会。

会場終了後、場所を京都ブライTONホテルに移して、懇親会を開催し、会員相互の親睦を深めた。

今回種々お世話いただきました京門連各聖、妙蓮寺の皆様方には厚く御礼申し上げますと共に、今後とも門下連合会発展に御尽力賜り度く重ねてお願い申し上げます。

▼人事(事務局への連絡日を含む)

年月日	氏名	宗派	門連役職	就任	退任
平成二一・一・二一	松下日肆	京都門下連合会	顧問	就任	退任
平成二一・一・二一	永田日海	京都門下連合会	顧問	就任	退任
平成二一・一・二一	石崎光教	京都門下連合会	常任理事	就任	退任
平成二一・一・二一	藤井照源	京都門下連合会	常任理事	就任	退任
平成二一・一・二一	石崎光教	京都門下連合会	理事	就任	退任
平成二一・一・二二	土屋善敬	法華宗陣門流	常任理事	就任	退任
平成二一・一・二二	佐古弘文	法華宗陣門流	理事	就任	退任
平成二一・一・二二	佐古弘文	法華宗陣門流	理事	就任	退任

本門法華宗管長に就任して



本門法華宗管長 松下日肆

平成二十年六月九日、大本山妙蓮寺第百十九世の法燈を継承させていただき、同年六月二十七日、宗会に於いて本門法華宗第十九代管長に推戴、晋山式は十一月二日、京都十六本山の御貫首、執事長、隨行の各聖、全門連理事長台下、薬師寺安田映胤管主を始め立正佼成会庭野日鑑会長、叡山山田能裕長老各関係朋友の御来駕を得、門末寺院総出席で準備万端滞りなく晋山の儀を終えましたこと誠に有り難く深く感謝申し上げます。

想えば、大阪妙光寺信隆日遠院下(妙蓮寺第八十七世)に随身し幾十有余年、宗門行政の道筋、信仰の象徴としての立場に置かれた今、善導教化の責任を履行する上で、つくづくと浅学不徳を感じさせられております。

私達には法華経の教えがあり、高祖大士の御教示があります。この教えを基にお題目を戴き勇猛精進の信念を持って努力を重ねて行きたいと念願致しております。

高祖大士が出世しまして此の大法(お題目)を四海に弘通し給いてより、本年は七五七年。立正安国論奏進七五〇年の慶日を迎え門下連合加盟の各宗派がそれぞれ企画立案され、報恩の「まこと」を捧げられること喜ばしく存じます。

また京都十六本山、京都門連、全国門連が連携して十月十日より十一月二十三日まで、京都国立博物館に於いて、「日蓮と法華の名宝展―華ひらく京都町衆文化―」が開催されます。高祖大士がいかに国の安穩を祈り、私達にご教示下されたかを世に示す折と感じ、我が宗門も幾つかの計画を検討し準備を推進して行く考えであります。

「信心弱くして成仏ののびん時それがしをうらみさせ給うな 譬へば病者に良薬をあたうるに毒を好んでくいぬれば病いえがたき時我が(失)とがとは思わずかえって医師を恨むが如くなるべし」とは日蓮大士の教え。現代人に多い責任逃れを放人しない。住みよい社会を造るために、宗門は小なりとも異口同音に唱えるお題目の信心は大であります。

宗門並びに妙蓮寺発展の歴史的事実を顕示し、百年の大計を真剣に考へていかねばと思っている次第です。最後になりましたが門下連合会の益々の発展と緊密な連携に依って榮えますことを祈念致します。

(略歴) 教部部長、学院教授、本山財務部長、執事長 (宗外活動) WCP日本委員会 評議員、同委員会非武装和解委員会委員長、保護司、京都ユネスコ協会会員等現)

毎月3回お届けします。信仰・ふれあい・笑顔・・・

宗門唯一の
伝道紙

日蓮宗新聞

毎月1日・10日・20日
年間購読 **3,600円**(送料込)

教誌

正法

年4回発行 年間購読 **1,700円**(送料込)
一冊350円(送料別)

お正月(1月号) 春季彼岸(3月号) お盆(7月号) お彼岸・お会式(9月号)

お申込みは 日蓮宗新聞社まで 〒146-0082 東京都大田区池上7-23-3 電話03-3755-5271 FAX03-3753-7028



各派・教団・短信

◆十月二日、総本山妙満寺を会場に「西部布教師研修会」が行われた。

◆十一月十五日・十六日の両日、巢鴨法華宗門流宗務院で法華宗三派統合協議会「統合学院」が開催された。

◆十一月二十五日・二十六日、京都総本山妙満寺を会場に「什門懇話会」が開催された。その後、会場を「琵琶湖グランドホテル」に移して懇親会が行われた。

◆六月十九日・京都総本山妙満寺で、十一月二十日・千葉大綱芳墳寺で、「行法講習会」が開催された。両日とも講師は妙塔学林院長・大川定信師と能化・大森俊栄師。(小島芳明)

法華宗本門流

◆平成二十年九月十七日・十八日、第六十二次臨時宗会が宗務院で開催され、宗門法規の全面的再編成について慎重審議をし可決された。

◆平成二十一年二月二十日、第十二回法華宗教学研究発表大会がキャンパスプラザ京都で開催予定。本年は昨年に引き続き「立正安国論」進覧七五〇年記念特別講演、例年の宗門内教師諸師の研究発表を予定。

◆平成二十一年三月五日、宗門の僧侶養成機関である「興隆学林専門学校」(尼崎・大本山本興寺内)の平成二十年度卒業式が行われる。卒業生は今まで勉強したことを糧にして、新たな布教の第一線に立つ。

◆古来、門祖日蓮聖人の教学こそ最も勝れた日蓮教学であるとして、門下の子弟に対し、連綿とその教学を伝授してきた「興隆学林専門学校」(尼崎・大本山本興寺内)の平成二十一年度新入生募集集中。(三浦賢秀)

頭本法華宗

◆平成二十年六月二日・三日、京都総本山妙満寺で「全国布教師研修会」が行われた。

◆八月二十五日・九月八日の十五日間、京都総本山妙満寺において「妙塔学林」開講。受講生は行学二道の修練に励んだ。

◆十月二十八日、千葉東金妙善寺で「東部僧員研修会」開催。十一月十四日、京都総本山妙満寺で「西部僧員研修会」が開催された。

法華宗門流

◆九月十一日・十日、中部教区・名古屋において、中央行学講習会が開催された。

◆十一月十四日、布教研究所報告会議が、東京巢鴨・法華宗宗務院会議室において開催された。

◆十一月二十日、宗学研究研究所員会が、宗務院会議室において開催された。

◆十一月二十一日、学林教授会が、宗務院会議室において開催された。

◆十一月二十六日、寺録点教見直し委員会が、宗務院会議室において開催された。

◆十二月一日・二日、新任職・学生・沙弥合同研修会が、宗務院会議室において開催された。

◆十二月三日、僧階昇級・検定試験が、宗務院会議室において開催された。

◆一月二十二日、第百十次定時宗会が宗務院会議室において開催され、審議の結果、佐古弘文宗務院長が新たに就任し、新内局が発足した。(松吉慶憲)

本門佛立宗

◆九月十四日、ミラノ近郊の町ヴィラーゼで新組発足記念御講が奉修され、二十名が参詣。イタリアでは昨年、フィレンツェに別院が設立され、北部中心に信徒が増えている。

◆十月十二日、本山着清寺で高祖会が四座に亘って奉修され、全国からの参詣で賑わった。前日には平成二十年度の定期昇叙者に対する叙任式が行われ、権大僧正以下

十九師が辞命を拝受した。

◆本山高祖会の式典に続き、本山宥清寺の大屋根瓦葺き替えと御宝蔵新築工事を実施する「平成の大改修、起工言上」が、講有日誠懇下より行われた。現在の本堂は、昭和六年建立の本格的な木造建築で、今回は約六億円の予算をかけ、一年の工期で改修する。

◆十月十九日、スリランカのコロナ国際会議場で「スリランカ開教十周年記念法要」が奉修され、日本からは宗務副総長・梅田日芳師以下記念団参を実施。現地信徒千六百名が参詣した。

◆十一月十五日、佛立研究所の公開講演会が札幌信廣寺で開催された。今回は関西大学社会学部教授の木村洋一先生をお招きし、「笑いを科学する」という演題で講話をいただいた。(吉田淳崇)

法華宗真門流

◆九月二十七日、福泉寺(大阪市)に於いて、第一教区仏教文化講演会が開催され、「笑う門には福来る」と題して、医師松村高勝氏の講演があった。

◆十月二十日・二十一日、「安国論奏進、伊豆法難七百五十年に向けて」と題して、第二教区主催護法会「合掌の旅」が開催され、百二十名の参加があった。

◆十月五日・十四日、総本山本隆寺に於いて秋季学林(辻本寛孝学林長)が開講された。

◆十月十二日・十三日、総本山本隆寺に於いて「お念仏」が奉修され、多くの参詣者が集まった。十二日には「三宝尊奉安四百年、本堂・祖師堂再建三百五十年記念法要」と「高祖日蓮大菩薩御建夜法要」が、十三日には、「高祖日蓮大菩薩御正当日法要」が厳修され、引き続き、新説式(初転法輪)が奉行された。

本門法華宗

◆十二月四日・五日、「平成二十年定期宗会」が開催され、平成二十年年度歳入歳出予算案、並びに学林長、布教師養成所所長、布教師、権大僧正の推薦など、諸案件について審議された。

◆一月一日・八日、総本山本隆寺に於いて年頭国禱会が修され、法華八講が催された。(森田量哲)

本門法華宗

◆二十年十月十二・十三日、大本

山妙蓮寺(松下日肆貫首)に於て、高祖日蓮大菩薩の御会式法要が厳修された。十二日速夜法要には万灯点灯。十三日に祥当会、普びに檀信徒志霊法要が厳修された。両日境内にて、つくり市、フリーマーケットが開催された。

◆同十一月二日、大本山妙蓮寺第百九十九世貫首松下日肆貫下の晋山報告法要が奉修された。松下新貫首は、六月九日に推戴され、同二十九日に本門法華宗管長に就任された。式典には宗内外より多数の関係者が参列した。会場を京都ホテルオークラに移して祝賀会が開催された。

◆十一月十二日、御開山日像菩薩御報恩法要並日慶日忠日応上人三師会並歴代人年忌法要が奉修された。

◆本門法華宗宗会議員選挙が十二月六日付で、藤井日靖宗務総長より発令され、二十五日付で三区十一名の宗会議員が決定した。

◆本門法華宗学院では、渡辺日恩学務部長が学院長を代行。第百二十六回教学講習会を九月五、六日、第百二十七回同会を十一月二十八、九日、大本山妙蓮寺卯木講堂にて開催。

◆同布教部より、布教誌「生きる」第五十一号雪華号、信報「信行」第七十七号を各々平成二十一年一月一日付で発行。(木村光昭)

◆平成二十年十月三日、明治節慶讃法要。養主先生以下有志による明治神宮参拝。

◆十一月一日、小松原法難会慶讃法要。十四日、臨時理事会。十五日、午後一時から本部講堂にて全国協議員会。午後七時より妙宗大靈廟各局輪番給仕。十六日、第七十遠忌連長・恩師師子王院智学日謙大居士報恩大会・妙宗大靈廟例月供養会。午後七時から恩師・師子王院智学日謙大居士御建夜法要。十七日、田中智学先生第七十遠忌報恩法要。

◆十二月十日、田中芳谷先生第三十六回忌追善法要。十三日、ロータスヴィア合同慰霊祭。

◆十一月七日、恩師給仕。二十日、各局輪番常勤給仕。理事会。二十一日、妙宗大靈廟第九百六十七回例月供養会。憶年会。二十三

日、天長節慶讃法要。二十五日、大正天皇祭。二十九日、御用納め。三十一日、福茶の会。送旧迎新式。

◆平成二十一年一月一日、元旦天国禱・新年拝賀式・神酒拝戴式。同日午後、国柱有志による明治神宮本殿参拝。(森山真治)

◆十月十三日、英国平和巡礼(ロンドン・オルターマストン核兵器工場)。

◆十月十四日・二十八日、アメリカ第四回シエルマウンド巡礼に参加。

◆十月十五日・二十八日、沖繩平和祈念行脚。

◆十月十九日、インド国ダージリン仏舎利塔十六周年法要。十月二十五日、インド国王舎城仏舎利塔三十九周年法要。

◆十一月一日、インド国、ニューデリー仏舎利塔一周年法要。

◆一月九日、藤井日達上人第二十五回忌御報恩法要、熱海道場。「人々よ、闇の深きを怖るるな。そは、やがて夜の明けんとする前兆である。夜は明け、年は改まった。春は来た。我々は広野の若草のごとく柔軟に、梢にさえずる小鳥のごとく明らかに、金光明鼓を撃って平和の祈り、希望の歌を大音声に唱いましよ。藤井日達」(牧野行暉)

京門連

◆十月二日(金) 御会式奉行委員会(大本山妙蓮寺、御会式の準備(万灯の搬入・組立))

◆十月四日(土) 御会式(大本山妙蓮寺)

◆十月四日(土) 御会式(大本山妙蓮寺) 導師・大本山妙蓮寺貫首松下日肆 院下 講師・立正大学教授北川前肇先生 首 頂岳日選院下 講師(大学) 中尾克(立正大学教授) 授 予定 講師(一般) 嵐圭史(前進座) ◆同日 午後四時 理事会(本能寺文化会館) ◆同日 午後四時 理事会(本能寺文化会館) ◆十月二日(金) 午後四時 お会式の件 ◆十月二日(金) 午後三時 お会式準備奉行委員会(本山頂妙寺) お会式準備 ◆十月三日(土) 午後一時 お会式(本山頂妙寺) ◆十月三日(土) 午後三時 お会式(本山頂妙寺) ◆十月三日(土) 午後三時 理事会(本山頂妙寺) 永田日海 導師 本山頂妙寺貫首 永田日海 院下 講師 法華宗本山貫首院下

事会(京一宗務所) 平成二十一年度役員確認の件 平成二十一年度会務行事の件 平成二十一年度決算の件 平成二十一年度会務行事案の件 平成二十一年度予算案の件 平成二十一年度降誕会の件 京門連会則変更の件 《今後の予定》 ◆二月十六日(土) 午後二時 京門連総会(本山本法寺) 平成二十一年度役員確認の件 平成二十一年度会務行事の件 平成二十一年度決算の件 平成二十一年度会務行事案の件 平成二十一年度予算案の件 京門連会則変更の件 ◆同 二時三〇分 降誕会(本山本法寺) 導師 本山本法寺貫首 大塚日行 院下 講師 本山妙蓮寺貫首 松下日肆院下

◆三月九日(月) 午後四時 理事会(京一宗務所) 立教開宗会の件 ◆夏季大学の件 ◆四月二十八日(火) 立教開宗会(比叡山横川定光院) 導師 本山頂妙寺貫首 永田日海 院下 講師 本山頂妙寺貫首 永田日海 院下 ◆六月九日(火) 午後四時 理事会(京一宗務所) ◆夏季大学の件 ◆八月二十九日(土) 午前十時 第四十五回夏季大学(本能寺文化会館) ◆同日 午後四時 立教開宗会(本山) 日蓮宗本山妙満寺貫首 頂岳日選院下 講師(大学) 中尾克(立正大学教授) 授 予定 講師(一般) 嵐圭史(前進座) ◆同日 午後四時 理事会(本能寺文化会館) ◆同日 午後四時 理事会(本能寺文化会館) ◆十月二日(金) 午後三時 お会式準備奉行委員会(本山頂妙寺) お会式準備 ◆十月三日(土) 午後一時 お会式(本山頂妙寺) ◆十月三日(土) 午後三時 お会式(本山頂妙寺) ◆十月三日(土) 午後三時 理事会(本山頂妙寺) 永田日海 導師 本山頂妙寺貫首 永田日海 院下 講師 法華宗本山貫首院下

日蓮宗

◆十一月 全門連京都理事会(本山妙満寺) 日蓮聖人門下連合会京都理事会 懇親会 別席 ◆十二月十八日(金) 午後四時 会計監査(本能寺文化会館) ◆同日午後五時 理事会(本能寺文化会館) 平成二十一年度会務行事報告 平成二十一年度決算中間報告 (藤井照源)

◆十一月 全門連京都理事会(本山妙満寺) 日蓮聖人門下連合会京都理事会 懇親会 別席 ◆十二月十八日(金) 午後四時 会計監査(本能寺文化会館) ◆同日午後五時 理事会(本能寺文化会館) 平成二十一年度会務行事報告 平成二十一年度決算中間報告 (藤井照源)

日蓮聖人門下連合会

●目的 本会は日蓮聖人の理想を実現するため、祖廟を中心として門下各派及び教団並びに地方門下連合会の連絡、協力、団結を強化することを目的とする。

●事業 本会は前条の目的を達成するため、左の事業を行う。

- 1、祖廟護持の組織強化
- 2、教育事業の提携
- 3、布教の連合強化
- 4、懇談会・研究会・講演会等の開催
- 5、各種出版物の刊行
- 6、海外布教の提携及び交流
- 7、対外的な各種の運動
- 8、その他

加盟団体

- 日蓮宗 法華宗本門流
- 頭本法華宗 法華宗門流
- 本門佛立宗 日蓮本宗
- 法華宗真門流 本門法華宗
- 国柱会 日本山妙法寺
- 京都門下連合会